

◆ 実戦問題 18 ◆

昔、^{*}右近将監^{うこんしょうげん}下野^{しもつけ}厚行^{あつゆき}といふ者ありけり。年たかくなりて、^{*}西京^{にしきやう}に住みけり。隣なりける人、^{*}にはかに死にけるに、この厚行、^{*}とぶらひに行きて、その子にあひて、^{*}別れの間の事どもとぶらひけるに、「この死にたる親を出さむに門^{かど}に悪しき方^{あた}に向かへり。さればとて、(1)さてあるべきにあらず。門よりこそ出すべきことにてあれ」と言ふを聞きて、厚行が言ふやう。「悪しき方より出さむこと殊^{こと}にしかるべからず。かつは、あまたの御子たちのため、殊に^{*}忌まはしかるべし。厚行が隔ての垣をやぶりと、それより出したてまつらん。かつは、生き給ひたりし時、事にふれて情のみありし人なり。^{*}かかる折だにも、その恩を報じ申さずは、何をもてか報ひ申さむ」と言へば、子どもの言ふやう。(2)無為なる人の家より出さむこと、あるべきにあらず。忌みの方なりとも、わが門よりこそ出さむ」と言へども、(3)ひがごとなし給ひぞ。ただ、(4)厚行が門より出したてまつらむ」と言ひて、帰りぬ。

関西大(経)

出題文

出典

「宇治拾遺物語」巻第二・六
「厚行、死人を家より出す事」
「宇治拾遺物語」は、p10参照。

* 右近将監＝右近衛府の三等官。
「近衛府」は、宮中の警護や
行幸のお供などにあたる役所。
* 西京＝平安京の西の方の地域。
右京にあたる。

* とぶらひ＝お悔やみ。お弔い
のこと。

* 別れの間の事ども＝死去の時
のことなどについて。

* 悪しき方に向かへり＝陰陽
道に基いて、方角が悪いこと
をいう。

* 忌まはしかるべし＝不吉なこ
とだろう。

* かかる折だにも、その恩を報
じ申さずは＝せめてこのよう
な時だけでも、その恩に報い
申し上げないならば。

* ひがごと＝道理に合わないこ

設問

問1

傍線(1)(2)の現代語訳として最も適当なものを、次の中からそれぞれ一つずつ
選べ。

- (1) ①そのために無理をしてよいというものではない
②そのまま出さないでよいというものではない
③他人をあてにしてよいというものではない
④よい方法があるというわけではない

(2) ①ものの道理もわからない人の家 ②忌む方角にあたっていない人の家

③何もしない人の家 ④何ごともない人の家 ⑤頼みもしない人の家

問2

傍線a～dについて説明した次の文の空欄にあてはまる言葉をそれぞれ記せ。

a＝直後に名詞の「こと」があるので、活用形は ① 形であるとわかる。
「出す」②「こと」と訳せば ③ の意味、「④ 出す」⑤「こと」
と訳せば ⑥ の意味となる。

b＝ ⑦ の意味である。

c＝ ⑧ の意味と考えられるが、詳しく見てみると「どういう時に報い申
し上げ」⑨「か」と訳する方がよく、その場合は可能の意味をもつ。

d＝ここは「む」ではなく、「⑩」となるべきである。

問3

傍線(3)「ひがごと」とあるが、ここではどういうことを指すのか。簡潔に記せ。

問4

傍線(4)のように言うのは、門が悪い方角にあたっているためであるが、とく
に厚行がこのようなしように言うのはどうしてか。厚行の言葉に即して、理由
を二つ記せ。

と。間違ったこと。

単語チェック

- ☑ 悪し 形 シク
☑ 殊に 副
☑ ひがごと 名
☑ な(こそ) 呼応の副詞